

テックドクターによる現地診断 (長崎県東彼杵郡東彼杵町大字菅無田郷)

- ・防災点検箇所のうち、今年9月に落石が発生したランクアップ候補箇所(カルテ対応→要対策)について、テックドクターに現地診断をしていただき、意見を伺った。
- ・開催日: 令和6年12月2日
- ・参加者: TEC-Doctor(九州大学 三谷教授/長崎大学 蔣 副学長、杉本准教授)、長崎河川国道事務所、佐世保国道維持出張所

● テックドクターによる現地診断



【TEC-Doctorの見解】

- ・現在のカルテ点検で監視している巨岩については、過去8年間変状もなく、今後も大きな動きは無いと考えられる。
- ・カルテ点検では、「岩盤崩壊」に着目しているが、当該斜面では岩盤崩壊に伴う変状よりも浮石・転石の落下に伴う変状が発生する可能性があることから、現在の岩盤崩壊ではなく、巨岩よりも下方の斜面を「落石・崩壊」に区分し監視を行うことが良い。
- ・「岩盤崩壊」については「カルテ対応」、「落石・崩壊」については「要対策」とする。
- ・対策工としては、現在施工の落石防護柵の高さを延長する案や、ポケット式ロックネット、ロックシェッドタイプの待ち受け型の施工も考えられる。